

超低額回答に抗議



N0 . 2468
2006年7月12日
発行責任者 太田博二
編集責任者 五十嵐敬

ベア・ゼロも七年連続

JR貨物会社は6月19日、2006年度夏季手当について1.87ヶ月の回答を行った。地方本部はこの超低額回答に対し、抗議と再回答を求める集会を福島は6月21日に郡藩前、郡山分會連絡協議会事務所で、宮城では6月22日に貨物宮城野門前でそれぞれ開催した

宮城集会では

集會は地本大沼書記長の司会で



貨物宮城野門前で報告する貨物協議会木村議長

◆木村議長報告

「貨物会社内の全ての労組が2.5ヶ月以上の要求を提出し、JR貨物会社も業績が安定している中で今回の回答は、七年連続のベア・ゼロの上に更に追い打ちをかける超低額回答であり到底容認出来るものではない。2005年度決算で昨年を上回る経常利益を確保する中で未だ国の補助を受け完全民営化出来ないでいる三島各社をも大幅に下回る回答は、厳しい生活実態の中、昼夜を問わず働いている組合員の労苦になんら応えていない」と分割民営化の構造的矛盾を指摘すると同時に格差をつけられながらも一生懸命仕事をしている組合員の努力に心えようとしないう貨物会社に対し怒りを露に報告した。各機関を代表して宮城県支部からは秋山

◆各機関から決意

委員長の、仙総支部からは庄司委員長がそれぞれ決意表明を行い、七年連続のベア・ゼロの上に超低額 格差回答は許せない。客・貨一体となって最後まで支援し共に闘う」と激励と連帯のエールを送った。

最後に決意表明に立った阿部分会長は 様々な取組みを全組合員で頑張ったが残念な結果になってしまった。しかし貨物の組合員は諦めない腐らないが身だ。我々は旅客の仲間の力を背景に最後の最後まで諦めず闘い抜く」と力強く決意を述べた。集會は中島副委員長が提案した集會宣言(案)を全体の拍手で確認し、橋本副委員長の団結がんばろうで締めくくられた。◆国労貨物は再回答を求め六月二十三日まで抗議の闘いを展開したが、会社の頑なな態度は変化せず、極めて不満の残る回答結果ではあるが同日妥結した。



決意表明する阿部分会長

地元紙で特集

◆庄内町榎木のJR羽越本線で昨年十二月二十五日、特急いなほ14号が脱線転覆し、三十七人が死傷した事故は六月二十五日で発生から半年という節目を迎えた。

◆地元の山形新聞では6月25日と

いなほ事故から半年

26日に社会面に特集を組んで事故当日の様子を乗客の証言を元に再現した記事や尼崎脱線事故の負傷者らが脱線転覆事故現場を訪れ、一万羽を超える千羽鶴を供え、犠牲者の冥福を祈ったとの記事を載せた。紙面によれば山形県警庄内捜査本部は現在特急いな

間に防風柵を完成させることにしており資材搬入路の整備を進めている。また防風柵を設置するまでの間現場周辺は四十五キロの徐行運転を継続するとしている。◆乗客証言の最後に「デッキに立って突風を直接感じたこともあり、脱線の原因は風と確信している」

背景にある営利優先から生まれた労務管理と安全軽視の体質はJR関係者なら周知の事実である。翻ってJR東日本の場合はどうであろう。原因は突風(自然災害)だけなのか。また仮にそうであっても防ぎ様はなかったのか。徹底した調査が望まれる。



貨物会社に対し抗議と仲間の激励に駆けつけた組合員(約70名)

国労宮城県支部 が臨時支部大会

新執行部を選出

国労宮城県支部は七月七日（こくろう会館）において第四十七回臨時支部大会を開催した。この臨時大会は、石垣副執行委員長が今年三月末で体調の悪化を理由に退職したその直後、四

月四日付けで渡辺書記長が東十条駅に地域間異動発令をされ、支部運動に支障が生じていたためにその解消を図ることが主な目的である。役員改選では定数通りの立候補者があり、新役員が決定した。新役員は以下の通り。



新執行部を代表して挨拶する秋山委員長

第五回アスベスト対策委員会を開催

六月十七日、第五回アスベスト対策会議がこくろう会館で開催された。会議は今日までの取組みを全体で確認し課題について討論をした。

アスベスト作業拒否で処分！

◆その一つとして郡山運輸区当時（1990年）にアスベスト作業を拒否した組合員が処分された問題に対して、地方本部執行委員会に諮り、地方本部としては趣旨了解であり、資料の調査整理を図り進めることを報告した。◆郡山工場（宇宙服を着ての作業は「PCB」撤去作業ではなかったか、との疑問に対し郡山工場の大橋委員から「アスベスト作業であることは間違いない。郡山工場の北側、現在の廃車解体の場所でもアスベスト作業をしていた」と明快な回答を得た。

耐震補強工事でアスベストの所在が明らかに

◆二つ目として東北新幹線福島南部高架橋耐震補強工事において、アスベストの存在が明らかにになった問題があり、東北

北工事事務所
分会が会
社に入
れ

アスベスト対策委員会から

行を
い交
渉を行
たこと
が報告
された。◆後日会社からはサ
ンプリングの取得箇所によっ
て含有率が違っている明らか
にされたが、分会としてはよ

OBの労災申請の状況

◆郡山工場支部OBの労災申請については二家族が五月十五日および十六日に郡山労働基準監督署に申請したことと、また郡山工場支部退職者の会に複数の方から相談があったことも合わせて報告された。

今後の取組みについて

◆①対策委員会は来年八月まで二ヶ月に一回のペースで開催②途中来年2月地本学習会の開催③支部・分会段階の学習会の開催④特殊健康診断「石綿」への受診申し込み⑤特殊健康診断結果報告書「石綿」の地本への提出等を確認した。次回開催は八月十九日

二十年ぶりに運転手復帰

六月二十日、こくろう会館において東北自動車支部は北山修司さんの運転手復帰歓迎会と村木美之さんの退職送別会を開催した。北山さんはバスの運転手をしていましたが、バス会社分離の時全員がバス会社出向の取り扱いなのにJR本体に残され、逆出向差別があった。この間の中労委和解協議の進展により、希望通り運転手としてJRバス東北仙台支店に配属された。村木



村木さんと北山さんを開んで

自動車支部で 北山さん

さんも申立者の一人だったが、希望職場が既に廃止、体調の関係もあり退職された。

新役員名簿

- ◆執行委員長 秋山 正浩
(ビルティック・出向)
- ◆執行副委員長 眞我 浩之 (中野栄駅)
- ◆書記長 山田 芳夫 (山下駅)
- ◆執行委員 内田 五郎
(貨物・宮城野駅)
- ◆執行委員 村上 正博
(東照宮駅)
- ◆執行委員 島山 満
(小牛田運輸区)
- ◆執行委員 立山 昭仁
(仙台電力技セ)
- ◆執行委員 宮本 広美
(仙台高商センター)
- ◆執行委員 八巻 孝夫
(小牛田運輸区)
- ◆婦人部長 三上 敬子
(仙台病院)
- ◆会計監査 後藤 武志
(小牛田運輸区)
- ◆会計監査 村松 孝一
(宮城野運輸区)

地域間異動 復帰

- ◆片岡 誠志氏(7月16日付)
四街道(郵便)→仙居駅
- ◆田村 孝一氏(7月16日付)
品川駅→新庄駅
- ◆鈴木 清美氏(7月16日付)
品川駅→金澤坂下
- ◆佐藤 博通氏(7月16日付)
立川駅→松島海岸駅
- ◆鈴木 実氏(7月16日付)
八王子駅→仙台高商センター

お知らせ

国労会館建設資金返済業務の取り扱い変更について

国労会館建設資金返済業務は1999年度末償還期限以降、(財)国労会館仙台事業部で取り扱いを行ってきたところです。

このたび返済業務が一定の整理を見たこと等から、(財)国労会館仙台事業部で取り扱ってきた業務の残りについて、国労仙台地方本部で引き受けることになりました。

つきましては、今後の国労会館建設資金返済請求については下記に請求をしてください。

記

住所 〒984-0015
仙台市若林区新寺一丁目431
名称 国鉄労働組合仙台地
方本部 担当係 岡崎
連絡先 TEL022-2937460
FAX022-2997435
請求方法 所定の請求書に
必要事項を記載の上「国労
会館建設資金受領之證」と
あわせて提出してください。